



2024年度第3四半期 決算説明資料

2025年2月5日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

2024年度 4-12月実績

- ・ **前年同期比で全セグメントともに増益**。「マテリアル」が、AIサーバーやハイエンドスマホ等の半導体・電子機器関連市場の好調な需要に伴う拡販や、原燃料コストを踏まえた適正なプライシング等により大幅に改善したことに加え、「住宅」および「ヘルスケア」も引き続き堅調に成長

2024年度 通期予想

- ・ **前期比で全セグメントともに増益を見込む**。デジタルソリューション事業やクリティカルケア事業等、各セグメントの成長牽引事業の利益成長が寄与
- ・ 円安影響に加え、デジタルソリューション事業や医薬事業におけるVeloxisの業績の進捗を踏まえ、**前回予想（2024年11月発表）比で利益を上方修正**
- ・ 引き続き、事業ポートフォリオ変革を推進。基盤マテリアル事業など石油化学チェーン関連事業の構造転換の検討を加速させるとともに、採算性の精査を徹底した上での成長牽引事業への投資や着実な刈り取りを進める

株主還元

- ・ 株主還元方針に従い、年間配当は36円を予想（変更なし）

中計の 取り組みの進捗 (2Q決算発表以降)

- ・ 持分法適用関連会社であるPTT Asahi Chemicalにおけるアクリロニトリル事業等の撤退方針を決定
- ・ 最先端半導体向けの感光性絶縁材料「パイメル」がTSMC社の「2024 TSMC Excellent Performance Award」で表彰
- ・ グリーン水素製造用電解システムの生産能力増強のプロジェクトが、経済産業省GXサプライチェーン構築支援事業に採択

1. 2024年度第3四半期実績

2024年度4-12月実績（連結）

売上高は2兆2,593億円、前年同期比で1,951億円（+9.5%）の増収

営業利益は1,644億円、前年同期比で659億円（+66.9%）の増益

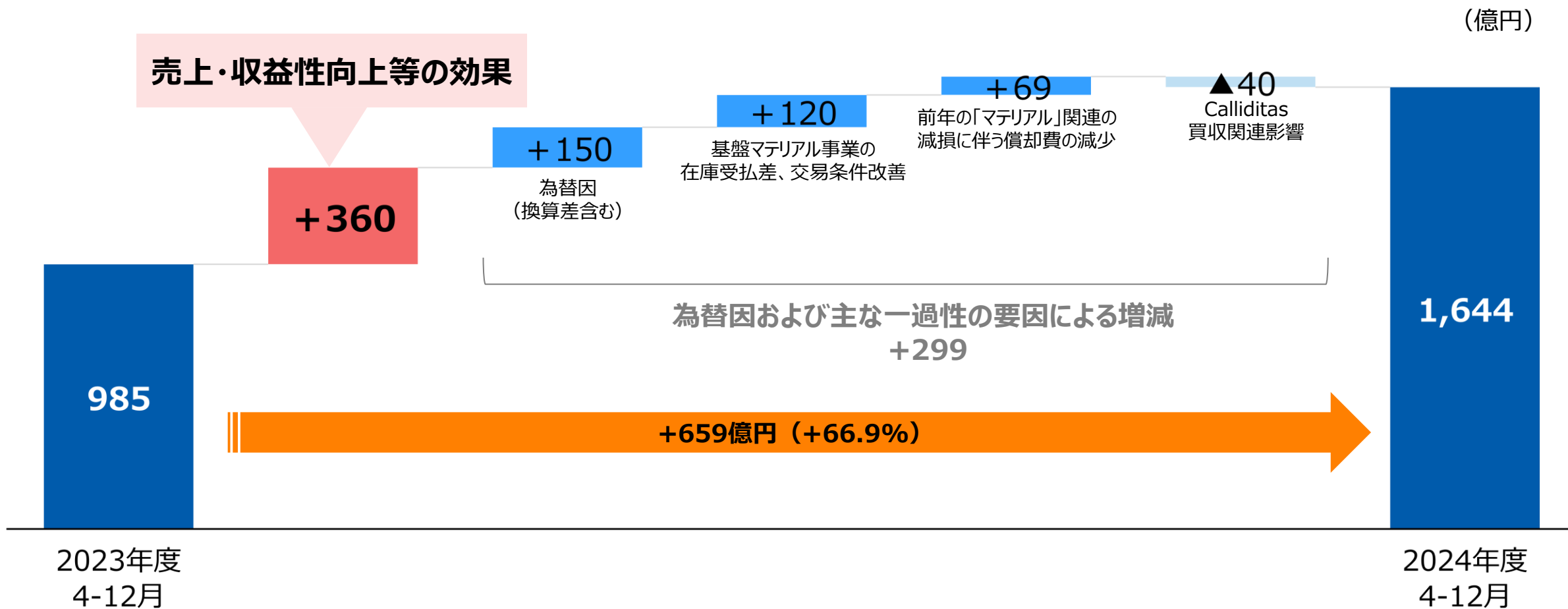
親会社株主に帰属する四半期純利益は985億円、前年同期比で399億円（+68.1%）の増益

		2023年度		2024年度		増減額	増減率
		3Q	4-12月	3Q	4-12月		
売上高	(億円)	7,182	20,641	7,689	22,593	1,951	+9.5%
営業利益	(億円)	426	985	555	1,644	659	+66.9%
売上高営業利益率		5.9%	4.8%	7.2%	7.3%		
のれん償却前営業利益	(億円)	502	1,205	658	1,904	699	+58.0%
EBITDA	(億円)	888	2,334	1,023	2,998	664	+28.4%
売上高EBITDA率		12.4%	11.3%	13.3%	13.3%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	(億円)	277	586	382	985	399	+68.1%
平均為替レート（USD/円）		148円	143円	152円	153円		
平均為替レート（ユーロ/円）		159円	155円	163円	165円		
国産ナフサ価格		72,800円/kl	68,000円/kl	73,200円/kl	76,400円/kl		

2024年度4-12月実績（営業利益増減要因）

前年同期比+659億円の増益のうち、半分以上が売上や収益性の向上等、実力ベースの増益

各セグメントにおける拡販に加え、原燃料コストを踏まえた適正なプライシングやコストダウン等、売上・収益性向上の取り組みが奏功



2024年度4-12月実績（セグメント別：前年同期比）

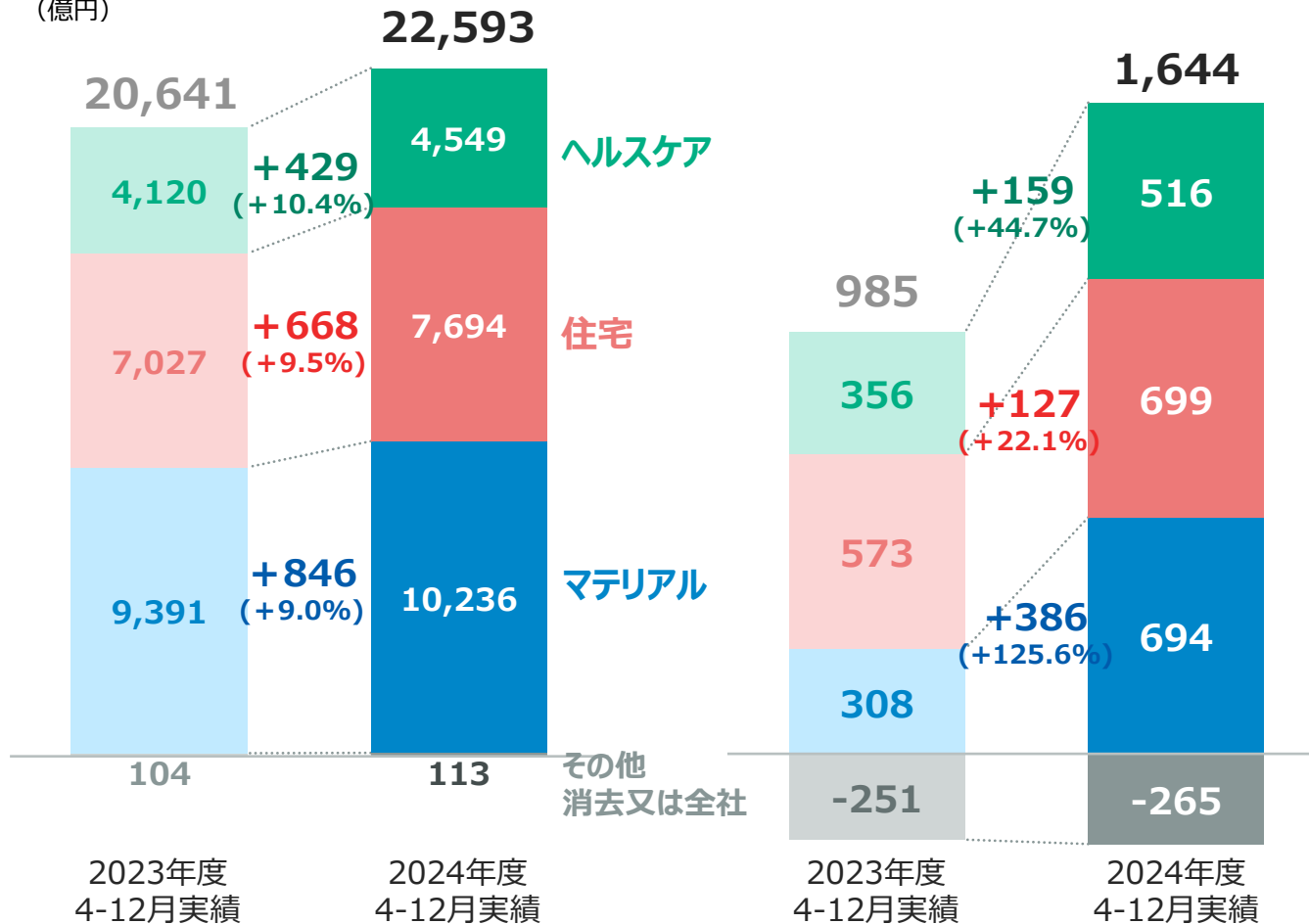
売上高 前年同期比

+1,951億円（+9.5%）

営業利益 前年同期比

+659億円（+66.9%）

（億円）



ヘルスケア

増収・増益

- ・ **医薬・医療事業 + 95億円**：主力製品の販売量増加、医療事業における円安影響等により、増益
- ・ **クリティカルケア事業 + 65億円**：除細動器の販売価格上昇や、LifeVestおよび睡眠時無呼吸症関連機器の数量増加、円安影響等により、増益

住宅

増収・増益

- ・ **住宅事業 + 126億円**：建築請負部門を中心に、全部門において、増益

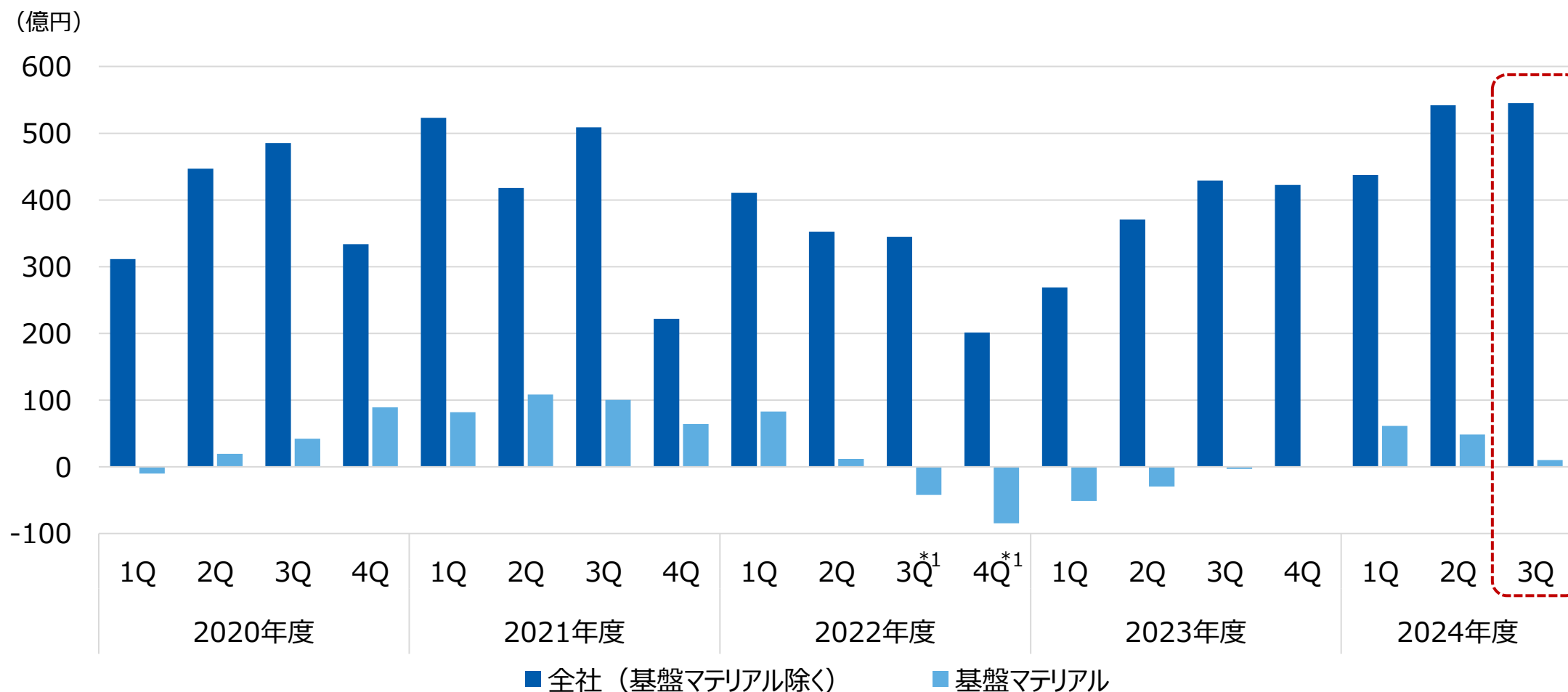
マテリアル

増収・増益

- ・ **環境ソリューション事業 + 190億円**：基盤マテリアル事業における石化市況の上昇による交易条件の改善や固定費低減等により、増益
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業 + 61億円**：自動車内装材やエンジニアリング樹脂における販売価格の上昇や円安影響等により、増益
- ・ **ライフイノベーション事業 + 162億円**：デジタルソリューション事業を中心に主力製品の販売が堅調に推移したほか、円安影響等により、増益

四半期営業利益推移

2022年度第4四半期を底に、営業利益は改善傾向。2024年度第3四半期の基盤マテリアルを除く営業利益は、過去5年間で最高益



*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

連結損益計算書

前年同期比の
主な増減要因

販管費

円安による海外子会社の販管費の換算額増加や、Calliditas、ODCの新規連結等により、増加

営業外損益

PTT Asahi Chemicalの事業撤退決定に伴い損失を計上したこと等により持分法投資損失が増加し、悪化

特別損益

事業構造改善費用を計上したこと等により、悪化

(億円)

	2023年度4-12月		2024年度4-12月		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	20,641	100.0%	22,593	100.0%	1,951	+9.5%
売上原価	14,619	70.8%	15,427	68.3%	807	+5.5%
売上総利益	6,022	29.2%	7,166	31.7%	1,144	+19.0%
販管費	5,037	24.4%	5,522	24.4%	485	+9.6%
営業利益	985	4.8%	1,644	7.3%	659	+66.9%
営業外損益	-80		-111		-31	
(内、持分法投資損益)	(-5)		(-68)		(-63)	
経常利益	905	4.4%	1,533	6.8%	628	+69.4%
特別損益	45		10		-35	
税前利益	950	4.6%	1,543	6.8%	593	+62.4%
法人税等	-344		-517		-173	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-21		-41		-20	
親会社株主に帰属する四半期純利益	586	2.8%	985	4.4%	399	+68.1%

政策保有株式の売却益や受取保険金を計上した一方、生産設備の統廃合等に伴い事業構造改善費用を計上したこと等により、悪化

	(億円)		
	2023年度4-12月	2024年度4-12月	増減額
投資有価証券売却益	100	139	39
固定資産売却益	2	3	1
受取保険金	21	66	46
事業譲渡益	30	-	-30
受取和解金	25	-	-25
負ののれん発生益	-	15	15
特別利益	178	224	46
投資有価証券評価損	10	8	-2
固定資産処分損	44	49	5
減損損失	22	12	-9
製品補償損失	-	20	20
事業構造改善費用	57	125	68
特別損失	132	214	82
特別損益	45	10	-35

連結貸借対照表

総資産	円安に伴い海外子会社の資産が増加したことに加え、Calliditas、ODCの新規連結に伴いのれん等が増加
負債	Calliditas、ODCの買収等に伴う資金調達により有利子負債が増加
純資産	四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加に加え、円安に伴いその他の包括利益累計額が増加

	2024/3月末	2024/12月末	増減額		2024/3月末	2024/12月末	増減額
流動資産	16,500	17,754	1,254	負債	18,141	21,211	3,070
現金及び預金	3,381	3,632	251	流動負債	9,146	10,502	1,356
受取手形、売掛金及び契約資産	4,859	5,194	334	支払手形及び買掛金	2,133	2,137	4
棚卸資産	6,788	7,363	575	その他	7,013	8,365	1,352
その他	1,472	1,565	93	固定負債	8,995	10,709	1,714
固定資産	20,127	22,795	2,668	純資産	18,486	19,337	851
有形固定資産	8,533	9,284	751	株主資本	13,119	13,332	214
無形固定資産	7,547	9,441	1,894	資本金	1,034	1,034	-
投資その他の資産	4,047	4,069	22	資本剰余金	803	804	1
				利益剰余金	11,355	11,838	482
				自己株式	-73	-343	-270
				その他の包括利益累計額	5,015	5,514	499
				非支配株主持分	352	491	139
資産合計	36,627	40,549	3,922	負債純資産合計	36,627	40,549	3,922
のれん残高	3,607	5,584	1,977				
有利子負債 ^{*1}	9,170	12,081	2,911				
D/Eレシオ	0.51	0.64	0.14				

(参考)
24年3月末の為替レート
24年12月末の為替レート

(USD) 151円 /(EUR) 163円
(USD) 158円 /(EUR) 165円

*1 リース債務除く

連結キャッシュ・フロー計算書

営業CF	税金等調整前四半期純利益が増加した一方、原燃料価格上昇に伴い運転資本が増加したこと等によりキャッシュ・インが減少
投資CF	Calliditas、ODC買収に伴うM&A関連の支出等によりキャッシュ・アウトが増加
財務CF	Calliditas、ODC買収に伴う資金調達額の増加等によりキャッシュ・インが増加

	2023年度4-12月	2024年度4-12月	増減額
(億円)			
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,709	1,633	-76
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,167	-3,413	-2,246
設備投資による支出	-1,271	-1,625	-354
M&A関連による支出	-	-1,967	-1,967
その他	104	179	75
c. フリー・キャッシュ・フロー (a + b)	542	-1,780	-2,322
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	400	1,927	1,527
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	140	113	-27
現金及び現金同等物の増減額 (c + d + e)	1,082	260	-822

2. 2024年度通期予想

2024年度通期予想（連結）

売上高は3兆440億円、前期比で2,591億円（+9.3%）の増収。前回予想（2024年11月発表）比で下方修正

営業利益は2,000億円、前期比で593億円（+42.1%）の増益。前回予想比で上方修正。第3四半期から第4四半期にかけては、各事業の季節性による需要減少や固定費増加等を見込むが、事業環境は引き続き堅調に推移する見通し

親会社株主に帰属する当期純利益は1,100億円、前期比で662億円（+151.1%）の増益。前回予想から変更なし

		2023年度			2024年度				2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
		上期	下期		上期	3Q	4Q予想	下期予想		増減額	増減率		
売上高	(億円)	13,459	14,390	27,849	14,903	7,689	7,847	15,537	30,440	2,591	+9.3%	30,710	-0.9%
営業利益	(億円)	559	849	1,407	1,089	555	356	911	2,000	593	+42.1%	1,950	+2.6%
売上高営業利益率		4.2%	5.9%	5.1%	7.3%	7.2%	4.5%	5.9%	6.6%			6.3%	
のれん償却前営業利益	(億円)	703	1,000	1,703	1,246	658	436	1,094	2,340	637	+37.4%	2,290	+2.2%
EBITDA	(億円)	1,447	1,783	3,229	1,975	1,023	862	1,885	3,860	631	+19.5%	3,810	+1.3%
売上高EBITDA率		10.7%	12.4%	11.6%	13.3%	13.3%	11.0%	12.1%	12.7%			12.4%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	308	130	438	602	382	115	498	1,100	662	+151.1%	1,100	±0.0%
EPS	(円)	22.25	9.35	31.60	43.46	27.65	8.36	36.01	79.47	47.87	+151.5%	79.90	-0.5%
のれん償却前EPS	(円)	32.68	20.28	52.96	54.80	35.10	14.13	49.23	104.04	51.08	+96.5%	104.60	-0.5%
平均為替レート (USD/円)		141円	148円	145円	153円	152円	155円	154円	153円			149円	
平均為替レート (ユーロ/円)		153円	160円	157円	166円	163円	160円	161円	164円			163円	
国産ナフサ価格		65,600円/kl	72,700円/kl	69,200円/kl	78,000円/kl	73,200円/kl	75,700円/kl	74,500円/kl	76,300円/kl			74,000円/kl	
1株当たり配当金		18円	18円	36円	18円			18円 (予想)	36円 (予想)			36円 (予想)	

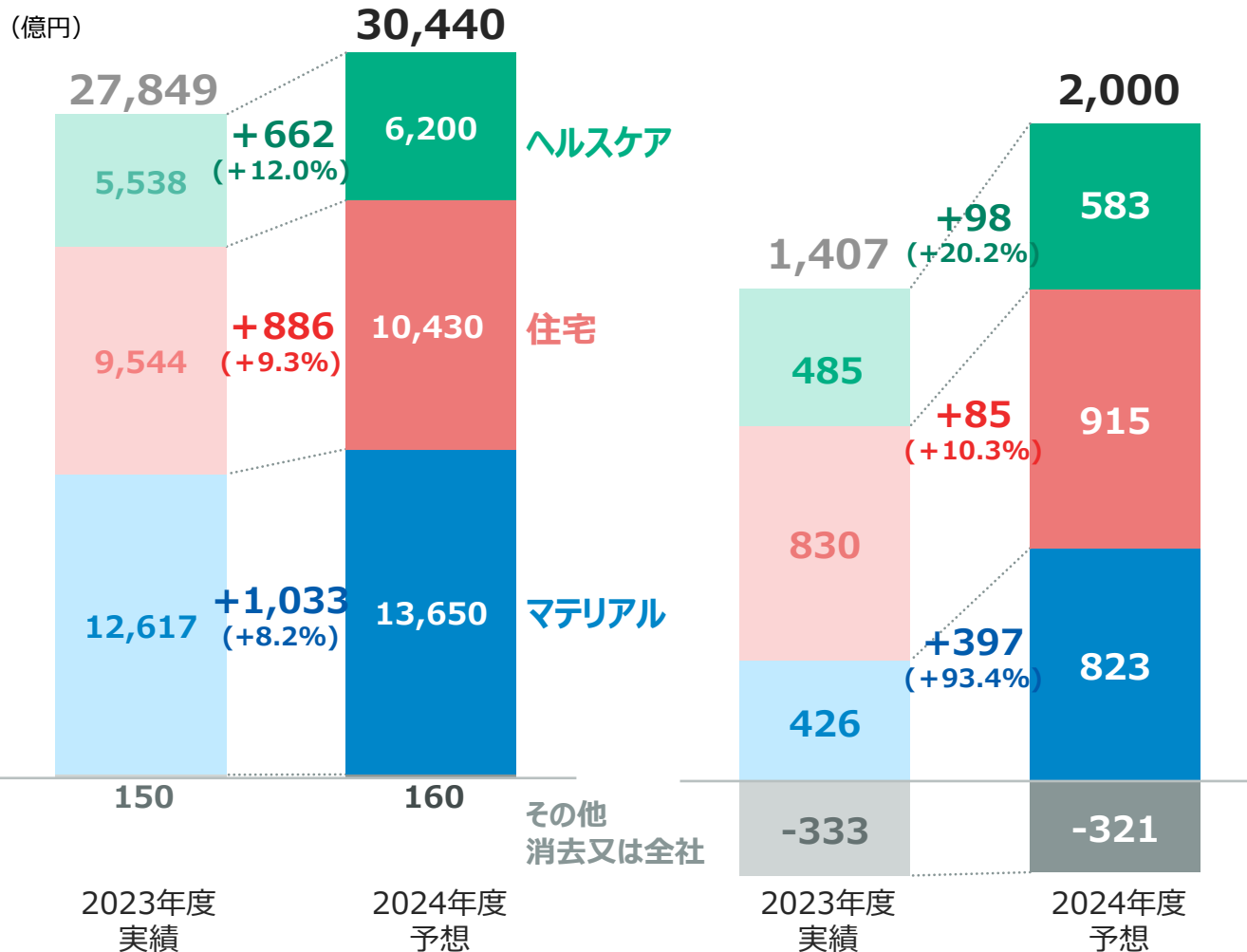
2024年度通期予想（セグメント別：前期比）

売上高 前期比

+2,591億円（+9.3%）

営業利益 前期比

+593億円（+42.1%）



ヘルスケア

増収・増益

- ・ **医薬・医療事業+14億円**：Calliditas買収によるマイナス影響があったが、Veloxisを中心に業績が伸長し、増益
- ・ **クリティカルケア事業+84億円**：除細動器の販売価格上昇や、LifeVestおよび睡眠時無呼吸症関連機器の数量増加や円安影響等により、増益

住宅

増収・増益

- ・ **住宅事業+75億円**：建築請負部門における平均単価上昇やコストダウンにより、増益
- ・ **建材事業+11億円**：価格転嫁の進捗により、増益

マテリアル

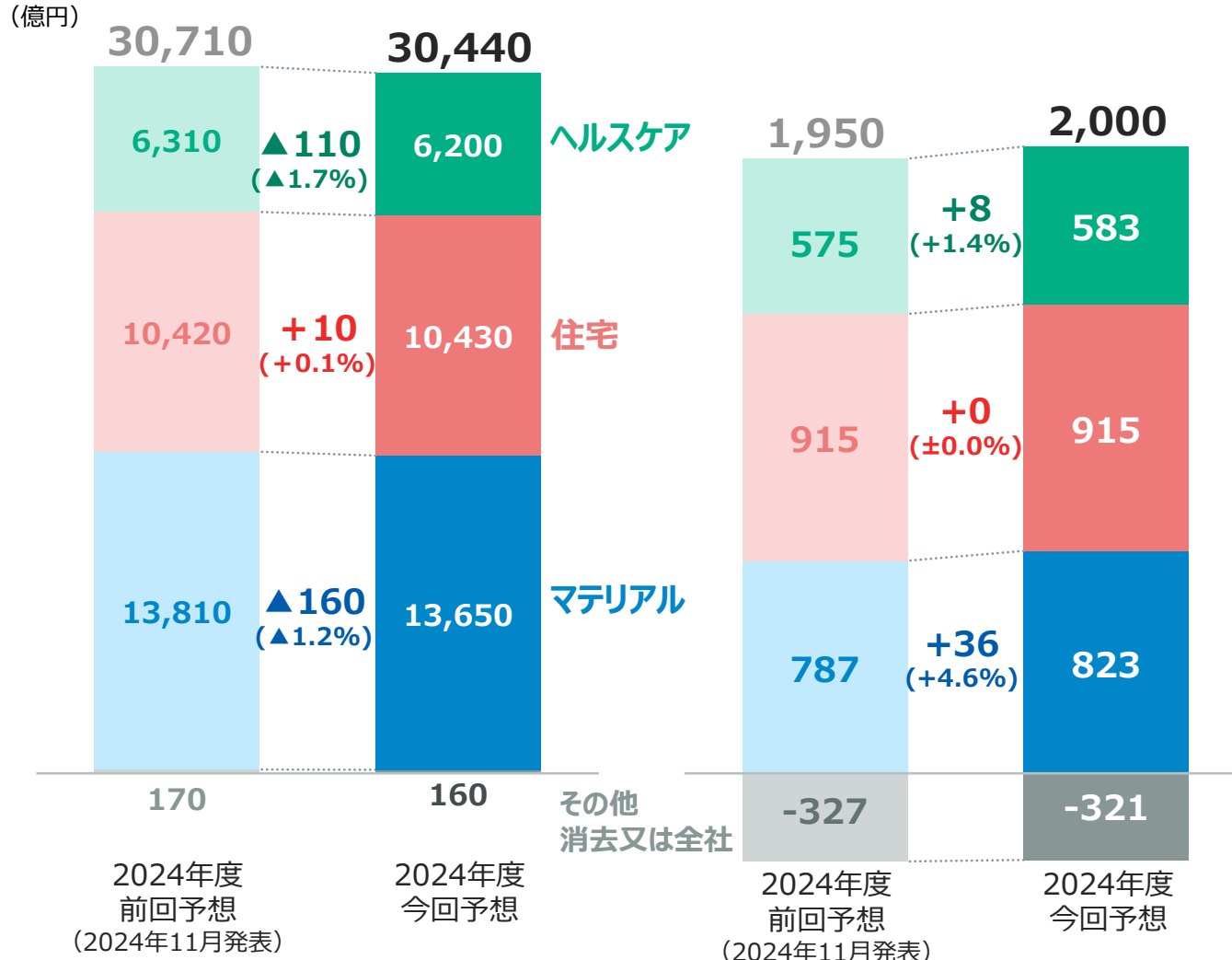
増収・増益

- ・ **環境ソリューション事業+179億円**：基盤マテリアル事業における石化市況の上昇による交易条件の改善や固定費低減等により、増益
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業+69億円**：自動車内装材やエンジニアリング樹脂における販売価格の上昇や円安影響等により、増益
- ・ **ライフイノベーション事業+171億円**：デジタルソリューション事業を中心に主力製品の販売が堅調に推移するほか、円安影響等により、増益

2024年度通期予想（セグメント別：前回（11月発表） 予想比） AsahiKASEI

売上高 前回予想比
▲270億円（▲0.9%）

営業利益 前回予想比
+50億円（+2.6%）



ヘルスケア 売上高 下方修正・営業利益 上方修正

- ・ **医薬・医療事業+30億円**：Veloxisの一過性の収入や単価の上昇等により、利益を上方修正
- ・ **クリティカルケア事業▲22億円**：除細動器の販売量が想定を下回り、利益を下方修正

住宅 売上高・営業利益 想定並み

- ・ ほぼ想定通りの進捗

マテリアル 売上高 下方修正・営業利益 上方修正

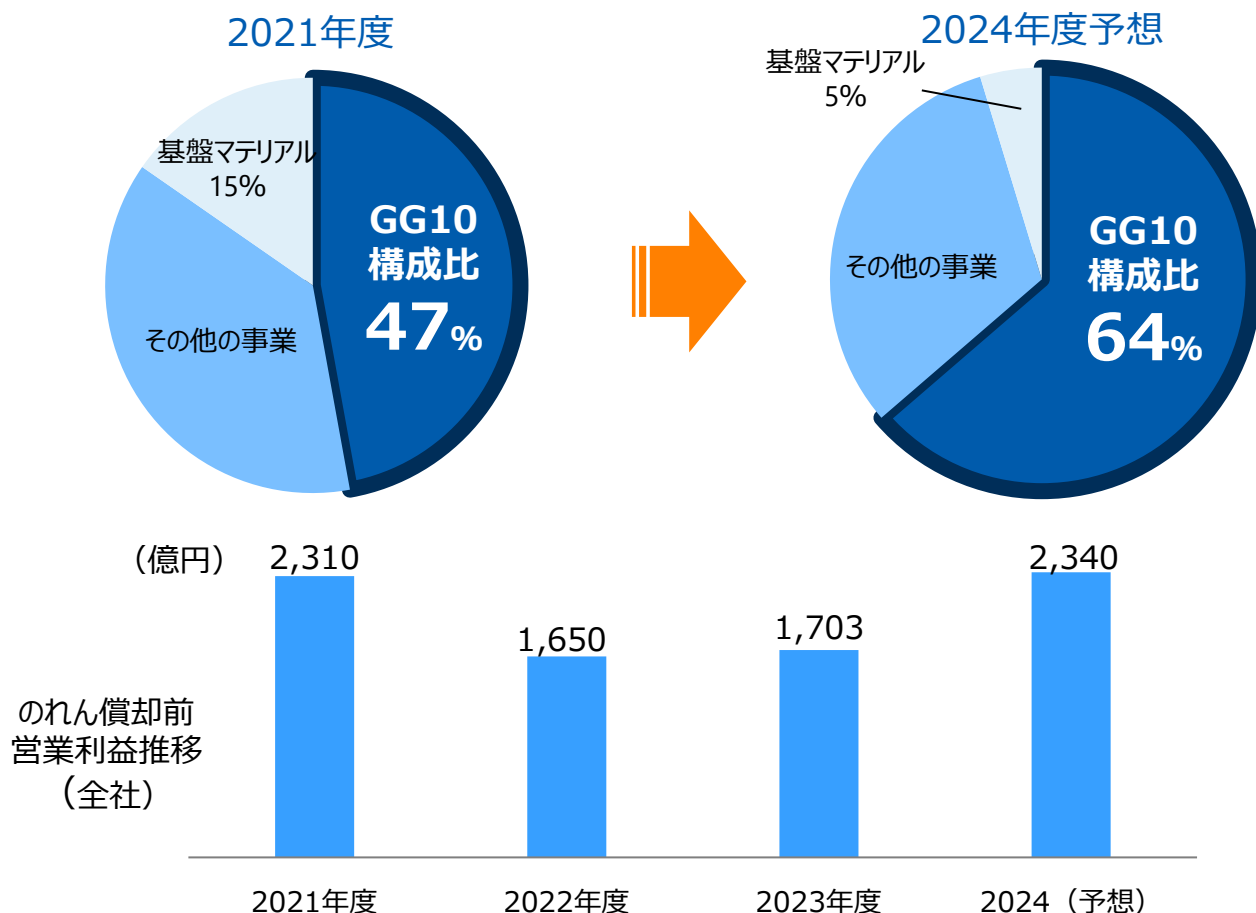
- ・ **環境ソリューション事業+33億円**：各事業が順調に推移するほか、円安影響や固定費の減少等を見込み、利益を上方修正
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業▲25億円**：エンジニアリング樹脂の販売量の減少等により、利益を下方修正
- ・ **ライフイノベーション事業+30億円**：デジタルソリューション事業の主力製品の販売が好調に推移するため、利益を上方修正

現中計期間における営業利益の構成変化

現中計期間において、基盤マテリアル事業が環境変化の影響を受けて利益が減少する一方、成長牽引事業であるGG10（10のGrowth Gears）の投資の刈り取りが進捗し、営業利益の構成が変化

新中計が始まる2025年度以降、GG10のさらなる利益成長を目指す

のれん償却前営業利益（全社）の構成比

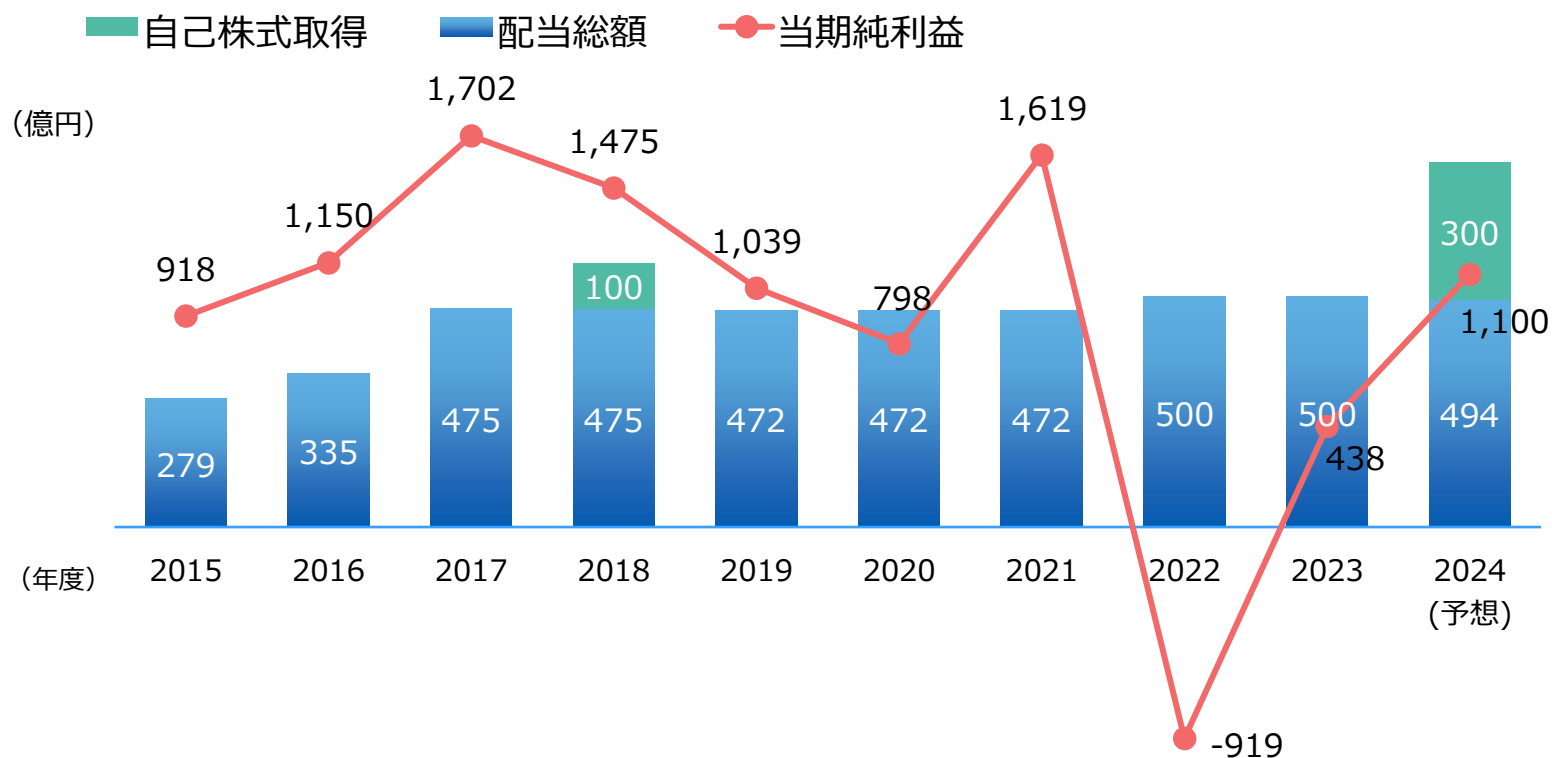


成長牽引事業（GG10）

領域	サブセグメントおよびGG10
マテリアル	環境ソリューション事業 - 蓄エネルギー（セパレータ） - 水素関連 - CO₂ケミストリー
	モビリティ&インダストリアル事業 自動車内装材
	ライフイノベーション事業 デジタルソリューション
住宅	住宅事業 - 環境配慮型住宅（建築請負） - 北米・豪州住宅 建材事業 - 環境配慮型建材（断熱材）
ヘルスケア	医薬・医療 - グローバルスペシャリティファーマ（Veloxis, Calliditas） - バイオプロセス
	クリティカルケア クリティカルケア（ZOLL）

株主還元方針に従い、年間配当は36円を予想（変更なし）

2024年11月に発表した300億円を上限とした自己株式の取得を実行中



株主還元方針

- 1 中期的なFCFの見通しから、株主還元の水準を判断する
- 2 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- 3 配当性向30～40%（中計3年間累計）を目安とし、配当水準の安定的向上を図る
- 4 自己株式取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況などを総合的に勘案して検討・実施する

配当性向	30.4%	29.1%	27.9%	32.2%	45.4%	59.1%	29.1%	—	113.9%	45.3%
1株当たり配当金(円)	20	24	34	34	34	34	34	36	36	36

3. セグメント別詳細

2024年度より、従来「モビリティ&インダストリアル事業」に含めていた一部事業を、「環境ソリューション事業」へ移管している。それに伴い、本ページ以降〈組替後〉と表示している箇所では、2023年度の実績について開示区分変更を反映した数値を記載している

(億円)

売上高	2023年度 <組替前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,968	3,134	3,289	3,226
環境ソリューション事業	1,146	1,201	1,328	1,274
うち 基盤マテリアル事業	662	721	808	744
モビリティ&インダストリアル事業	918	960	960	980
ライフイノベーション事業	903	973	1,000	972
うち デジタルソリューション事業	294	317	331	343
マテリアル共通	2	0	0	0



2023年度 <組替後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
2,968	3,134	3,289	3,226
1,162	1,218	1,348	1,292
662	721	808	744
901	943	941	962
903	973	1,000	972
294	317	331	343
2	0	0	0

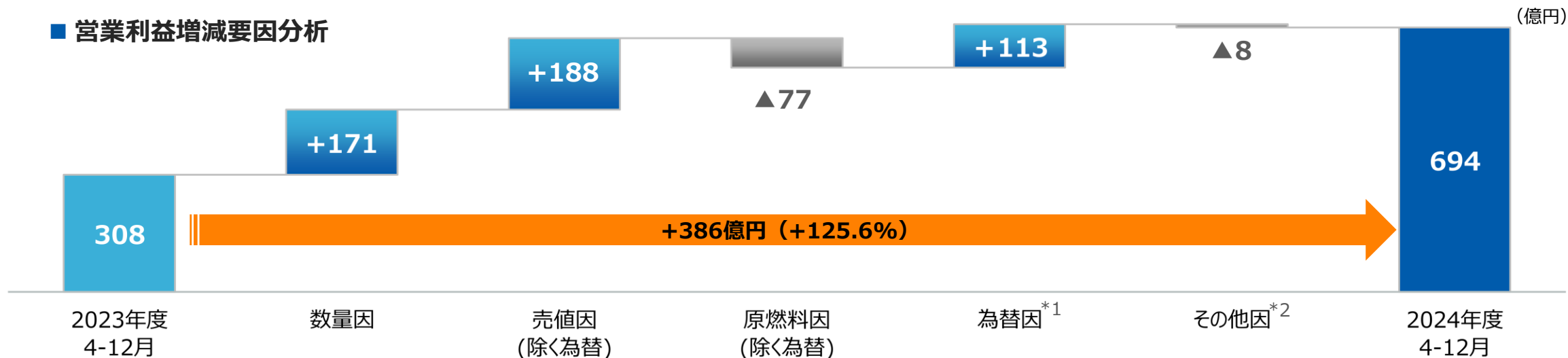
営業利益	2023年度 <組替前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	76	101	130	118
環境ソリューション事業	-7	-11	20	16
うち 基盤マテリアル事業	-51	-29	-3	0
モビリティ&インダストリアル事業	30	39	16	45
ライフイノベーション事業	45	72	98	69
うち デジタルソリューション事業	20	33	40	33
マテリアル共通	8	2	-4	-12



2023年度 <組替後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
76	101	130	118
-7	-9	22	17
-51	-29	-3	0
30	37	14	45
45	72	98	69
20	33	40	33
8	2	-4	-12

ライフイノベーション事業を中心とした数量因や、原燃料コストを踏まえた適正なプライシングによる売値因、円安による為替因のプラスにより、増益

■ 営業利益増減要因分析

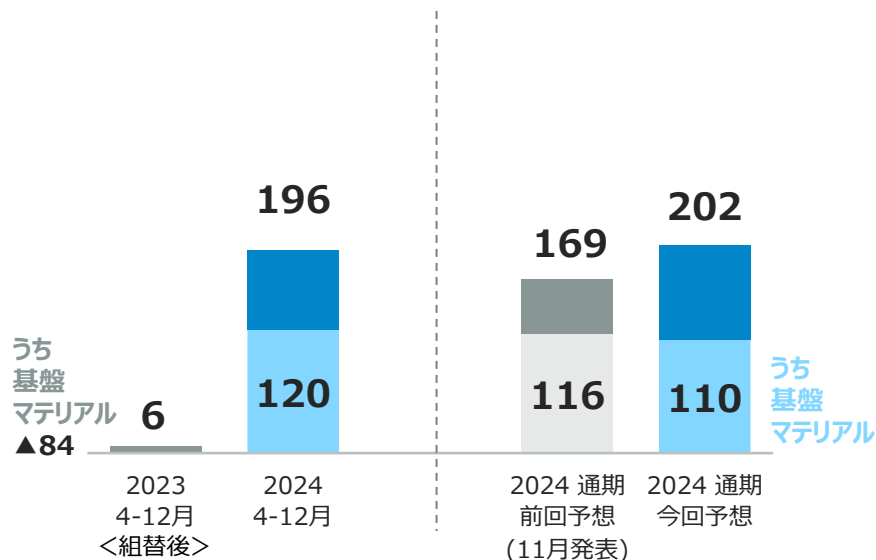


	売上高				営業利益								
	2023年度 4-12月 <組替後>	2024年度 4-12月	増減額	増減率	2023年度 4-12月 <組替後>	2024年度 4-12月	増減額	増減率	内訳				
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因 ^{*1}	その他因 ^{*2}
マテリアルセグメント	9,391	10,236	846	+9.0%	308	694	386	+125.6%	171	188	-77	113	-8
環境ソリューション事業	3,728	4,094	366	+9.8%	6	196	190	+3084.2%	21	118	-51	44	58 ^{*3}
うち 基盤マテリアル事業	2,192	2,417	226	+10.3%	-84	120	204	-					
モビリティ&インダストリアル事業	2,785	3,061	276	+9.9%	81	142	61	+75.5%	14	76	-31	30	-28
ライフイノベーション事業	2,875	3,081	206	+7.1%	215	377	162	+75.7%	136	-7	18	40	-24
うち デジタルソリューション事業	942	1,102	161	+17.1%	93	194	102	+109.7%					
マテリアル共通	3	0	-2	-84.1%	6	-21	-27	-	-	-	-13 ^{*3}	-	-14 ^{*3}

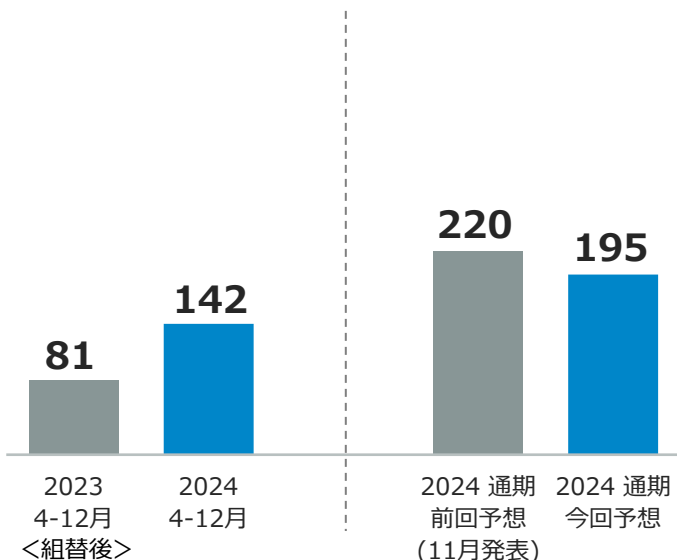
*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 *3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで含めて表示している

■ 営業利益（億円）

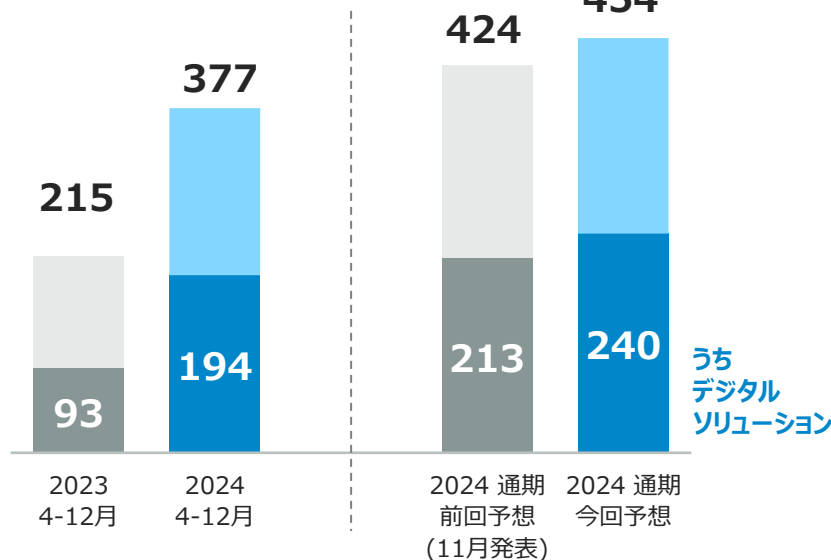
環境ソリューション



モビリティ&インダストリアル



ライフイノベーション



主な事業		2024年度4-12月 vs 2023年度4-12月（YoY）		2024年度通期 今回予想 vs 前回予想（11月発表）	
環境ソリューション	セパレータ	↘	民生用途を中心にLIB用セパレータの販売量は増加したが、分社や北米投資に伴う販管費の増加や経時的な価格対応等により、減益	↗	LIB用セパレータにおいて、車載用途の販売が想定を下回る一方、民生用途の販売が堅調に推移することに加え、固定費削減等を見込み、上方修正
	基盤マテリアル	↗	石化市況上昇による交易条件の改善や固定費低減等により、増益	↘	交易条件は改善するが、販売量の減少等を見込み、下方修正
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	↗	価格転嫁や円安による交易条件の改善、中国向けのPVC合成皮革の販売量の増加等により、増益	↗	前回予想並み
	エンジニアリング樹脂	↗	価格転嫁や円安による交易条件の改善により、増益	↘	自動車用途、工業用途とも販売量が想定を下回り、下方修正
ライフイノベーション	デジタルソリューション	↗	AIサーバーやハイエンドスマホ向け電子材料、カメラモジュール向け電子部品等が堅調に推移したことに加え、円安影響もあり、増益	↗	AIサーバーやハイエンドスマホ向け電子材料の販売量が想定を上回り、上方修正

(億円)

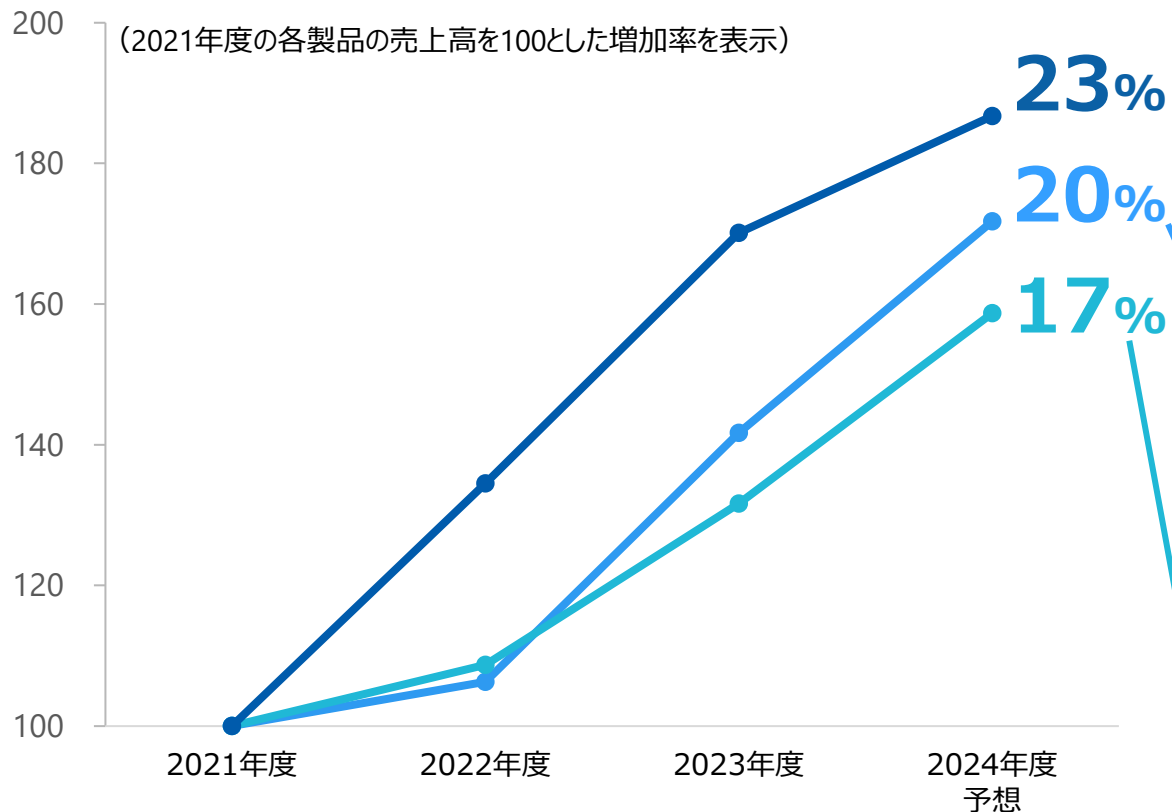
売上高	＜組替後＞							2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
	上期	下期	2023年度	上期			下期予想		増減額	増減率		
					3Q	4Q予想						
マテリアルセグメント	6,102	6,515	12,617	6,857	3,379	3,414	6,793	13,650	1,033	+8.2%	13,810	-1.2%
環境ソリューション事業	2,380	2,640	5,020	2,792	1,303	1,406	2,708	5,500	480	+9.6%	5,630	-2.3%
うち 基盤マテリアル事業	1,383	1,552	2,935	1,665	753	823	1,575	3,240	305	+10.4%	3,390	-4.4%
モビリティ&インダストリアル事業	1,844	1,903	3,747	2,042	1,019	949	1,968	4,010	263	+7.0%	4,040	-0.7%
ライフインノベーション事業	1,875	1,972	3,847	2,023	1,058	1,059	2,117	4,140	293	+7.6%	4,140	±0.0%
うち デジタルソリューション事業	610	674	1,285	725	378	358	735	1,460	175	+13.6%	1,450	+0.7%
マテリアル共通	3	0	3	0	0	-0	-0	0	-3	-100.0%	0	±0.0%

営業利益	＜組替後＞							2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
	上期	下期	2023年度	上期			増減額		増減率			
					3Q	4Q予想				下期予想		
マテリアルセグメント	177	248	426	502	192	129	321	823	397	+93.4%	787	4.6%
環境ソリューション事業	-16	39	23	165	31	6	37	202	179	+783.4%	169	+19.5%
うち 基盤マテリアル事業	-81	-3	-84	110	10	-10	0	110	194	-	116	-5.2%
モビリティ＆インダストリアル事業	67	59	126	116	25	53	79	195	69	+55.1%	220	-11.4%
ライフインノベーション事業	117	166	283	246	131	77	208	454	171	+60.2%	424	+7.1%
うち デジタルソリューション事業	53	73	125	128	67	46	112	240	115	+91.4%	213	+12.7%
マテリアル共通	10	-16	-6	-26	4	-7	-2	-28	-22	-	-26	-

電子部品と電子材料を併せ持つ強みを活かし、「マテリアル領域の大きな収益の柱」とすべく事業の拡大成長を加速

AIサーバー向けやハイエンドスマホ向けの需要を捉え、ニッチで特徴ある最先端製品を中心に、売上高は大きく伸長

主力製品の売上高CAGR（FY21→FY24）



モバイル機器用カメラモジュール向けIC



市場： スマートフォン向けカメラの性能向上における、手振れ補正や高速オートフォーカスのニーズが高度化

強み： 最終ユーザーでは製品化が難しい小型モジュールに対し、量産性を考慮したソフト・ハードの両面でのソリューション提供力

プリント基板用絶縁材ガラスクロス



市場： AIサーバーや高速通信用サーバー用途等で、低損失で高速通信を実現する低誘電ガラスクロスの需要が急増

強み： 市場をリードする高品質な最先端品の開発力（次世代関連市場において高い販売シェアを獲得）

感光性絶縁材料「パイメル」 (半導体チップの表面保護、銅配線用層間絶縁膜用途)

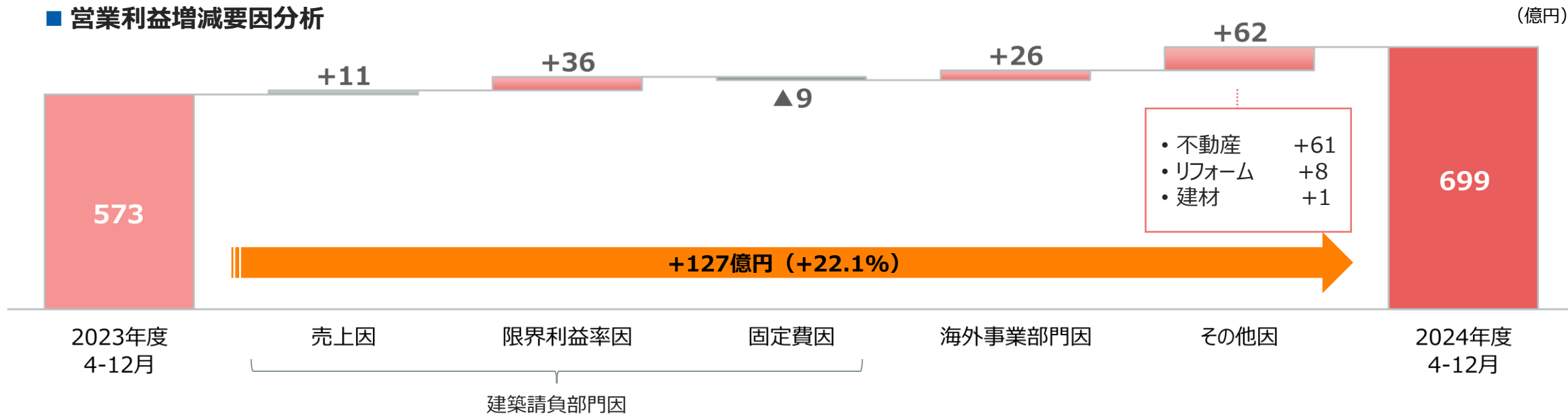


市場： 次世代半導体パッケージ向けの層間絶縁膜市場は2022→2028年でCAGR7%見通し

強み： 最先端半導体プロセスに関する顧客ニーズの把握と、スピーディに対応する開発力

建築請負部門における平均単価上昇による売上因やコストダウンも加えた限界利益率因の向上に加え、不動産部門や海外事業部門が順調に推移したことにより、増益

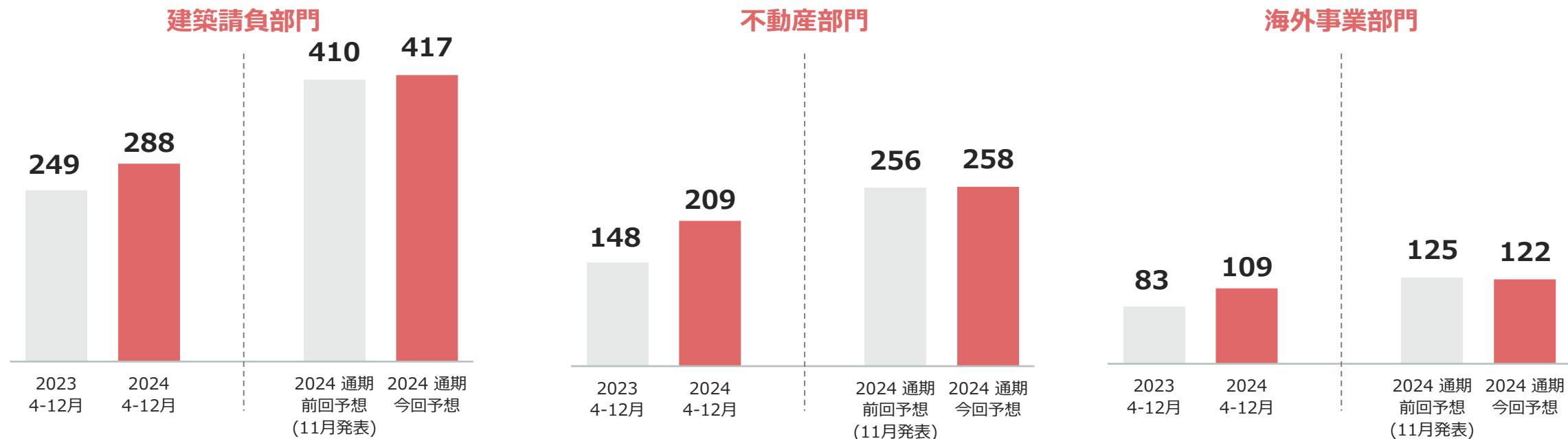
■ 営業利益増減要因分析



	売上高				営業利益								
	2023年度 4-12月	2024年度 4-12月	増減額	増減率	2023年度 4-12月	2024年度 4-12月	増減額	増減率	内訳				
									建築請負部門			海外事業 部門因	その他因
									売上因	限界利益率因	固定費因		
住宅セグメント	7,027	7,694	668	+9.5%	573	699	127	+22.1%	11	36	-9	26	62
住宅事業	6,702	7,372	670	+10.0%	539	665	126	+23.4%	11	36	-9	26	62 ^{*1}
建材事業	325	322	-3	-0.9%	34	34	1	+2.4%	-	-	-	-	1

*1 不動産、リフォーム、その他

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度4-12月 vs 2023年度4-12月（YoY）		2024年度通期 今回予想 vs 前回予想（11月発表）	
住宅	建築請負部門	➡	数量減少を物件の大型化・高付加価値化による平均単価の上昇やコストダウンでカバーし、増益	➡	前回予想並み
	不動産部門	➡	賃貸管理事業の管理戸数が堅調に増加した他、分譲マンションの販売戸数が大幅に増加し、増益	➡	前回予想並み
	海外事業部門	➡	円安に加えて、北米事業は住宅需要が落ち込んだ前年同期に対して数量が回復し、豪州事業は価格転嫁が進んだため、増益	➡	前回予想並み

(億円)

売上高	2023年度							2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
				上期			下期予想		増減額	増減率		
					3Q	4Q予想						
住宅セグメント	4,626	4,918	9,544	5,052	2,643	2,736	5,378	10,430	886	+9.3%	10,420	+0.1%
住宅事業	4,406	4,722	9,129	4,842	2,530	2,628	5,158	10,000	871	+9.5%	10,000	±0.0%
建築請負部門	1,956	2,054	4,010	1,940	1,109	1,121	2,230	4,170	160	+4.0%	4,140	+0.7%
不動産部門	871	1,145	2,016	1,144	518	562	1,081	2,225	209	+10.4%	2,230	-0.2%
リフォーム部門	279	283	563	280	147	152	300	580	17	+3.1%	585	-0.9%
海外事業部門	1,294	1,233	2,528	1,464	753	783	1,536	3,000	472	+18.7%	3,000	±0.0%
その他	6	7	13	13	3	9	12	25	12	+92.9%	45	-44.6%
建材事業	220	195	415	209	113	108	221	430	15	+3.6%	420	+2.4%

営業利益								2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
	上期	下期	2023年度	上期			下期予想		増減額	増減率		
					3Q	4Q予想						
住宅セグメント	354	476	830	436	263	216	479	915	85	+10.3%	915	±0.0%
住宅事業	327	468	795	419	246	205	451	870	75	+9.4%	870	±0.0%
建築請負部門	149	200	349	152	136	129	265	417	68	+19.4%	410	+1.7%
不動産部門	87	165	252	150	58	49	107	258	5	+2.1%	256	+0.8%
リフォーム部門	32	34	66	34	20	19	39	73	7	+10.4%	73	+0.3%
海外事業部門	51	64	115	80	29	13	42	122	7	+6.2%	125	-2.4%
その他	8	5	13	3	3	-5	-2	1	-12	-96.1%	7	-92.5%
建材事業	26	8	34	17	17	11	28	45	11	+31.1%	45	±0.0%

建築請負部門の4-12月累計受注高は、新たなマーケティング戦略への過渡期だった前年同期に対し、+10.0%と順調に推移

近年の集合住宅の好調な業績を受け、不動産部門における賃貸管理事業が着実に拡大

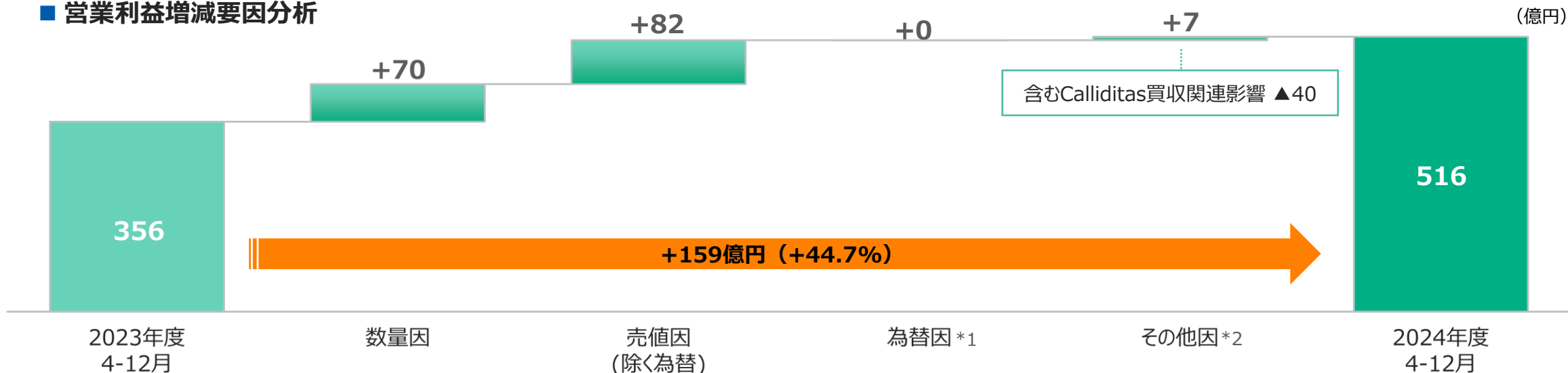
(単位：億円、() 内は対前年同期比)

		建築請負部門						不動産部門		
		受注		売上高				売上高 ^{*1}		
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計
2022年度	上期	1,912 (-7.3%)	5,481	1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644 (-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	通期	3,556 (-7.5%)		2,658	1,210	239	4,107	469	1,426	1,895
2023年度	上期	1,865 (-2.4%)	5,250	1,137	693	125	1,956	127	744	871
	下期	2,074 (+26.2%)	5,204	1,166	740	147	2,054	342	804	1,145
	通期	3,939 (+10.8%)		2,303	1,433	273	4,010	468	1,548	2,016
2024年度	上期	2,066 (+10.8%)	5,715	1,076	701	163	1,940	341	803	1,144
	4-12月累計	3,058 (+10.0%)	5,751	1,722	1,097	230	3,049	452	1,210	1,663
	下期予想	2,069 (-0.2%)	5,546				2,230	199	882	1,081
	通期予想	4,136 (+5.0%)					4,170	540	1,685	2,225

*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業等の売上高、「賃貸・仲介事業」に賃貸事業と仲介事業の売上高の合計値を表示するように変更している（2022年度の売上高を遡って修正）

医薬・医療事業における主力製品の販売量増加による数量因や、クリティカルケア事業における除細動器の販売価格の上昇による売値因のプラスがあり、増益

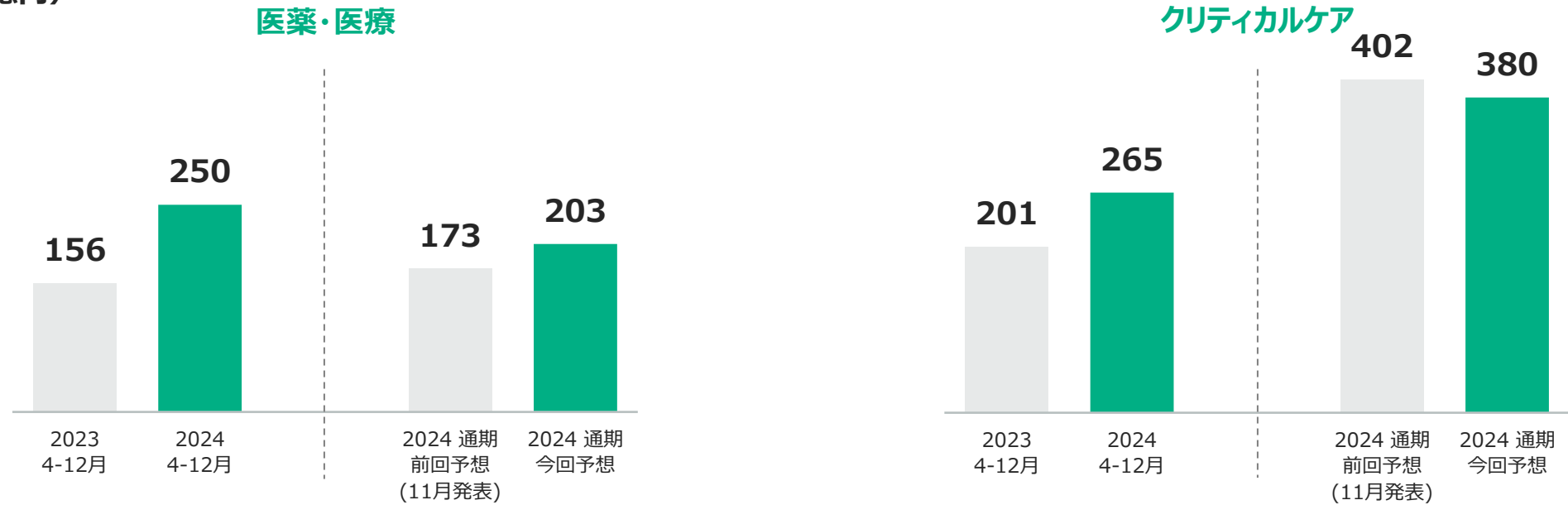
■ 営業利益増減要因分析



	売上高				営業利益							
	2023年度 4-12月	2024年度 4-12月	増減額	増減率	2023年度 4-12月	2024年度 4-12月	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
ヘルスケアセグメント	4,120	4,549	429	+10.4%	356	516	159	+44.7%	70	82	0	7
医薬・医療事業	1,572	1,843	271	+17.3%	156	250	95	+60.8%	87	17	2	-11
クリティカルケア事業	2,548	2,706	158	+6.2%	201	265	65	+32.3%	-17	66	-2	18

*1 売値因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、ライセンス導入・導出等の一時収益・費用、新規連結 等

■ 営業利益（億円）



主な事業		2024年度4-12月 vs 2023年度4-12月（YoY）		2024年度通期 今回予想 vs 前回予想（11月発表）	
医薬・医療	医薬	➡	Calliditas買収関連影響があったが、主力製剤の販売量の増加等により、増益	➡	Envarsus XRの一過性収入や単価の上昇等に加え、固定費の削減により、上方修正
	医療	➡	プラバの販売量の増加や円安影響により、増益	➡	前回予想並み
クリティカルケア	LifeVest	➡	新規患者数の増加や円安影響により、増益	⬅	新規患者数が想定をやや下回る進捗により、下方修正
	除細動器	➡	販売価格の上昇や原価低減、円安影響により、増益	⬅	販売量が想定を下回る進捗により、下方修正

(億円)

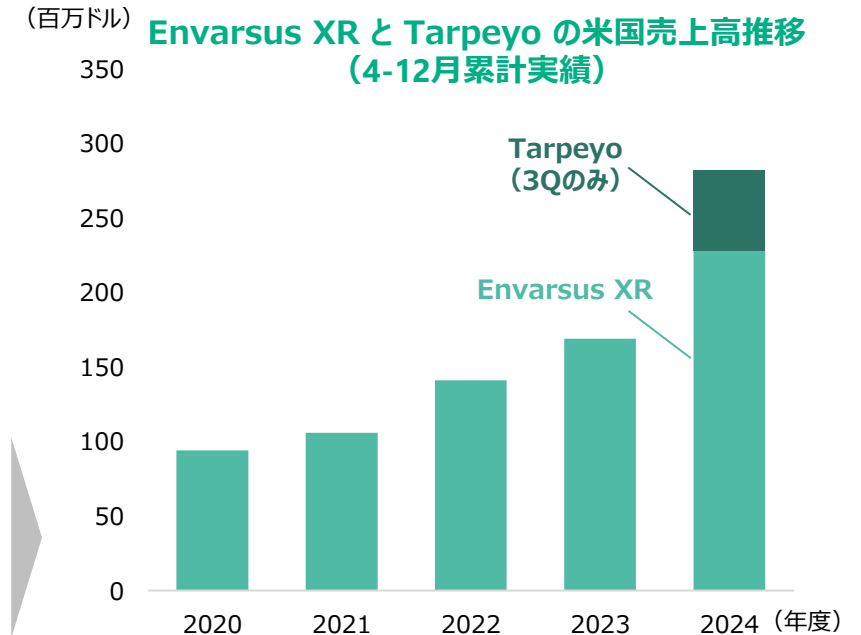
売上高								2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
	上期	下期	2023年度	上期			下期予想		増減額	増減率		
					3Q	4Q予想						
ヘルスケアセグメント	2,665	2,873	5,538	2,927	1,622	1,651	3,273	6,200	662	+12.0%	6,310	-1.7%
医薬・医療事業	1,009	1,075	2,084	1,135	708	617	1,325	2,460	376	+18.1%	2,450	+0.4%
医薬事業	563	595	1,158	662	468	390	858	1,520	362	+31.3%	1,510	+0.7%
医療事業	445	480	926	473	240	227	467	940	14	+1.5%	940	±0.0%
クリティカルケア事業	1,657	1,797	3,454	1,792	914	1,034	1,948	3,740	286	+8.3%	3,860	-3.1%

営業利益								2024年度 予想	前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
	上期	下期	2023年度	上期			下期予想		増減額	増減率		
					3Q	4Q予想						
ヘルスケアセグメント	198	287	485	332	184	67	251	583	98	+20.2%	575	+1.4%
医薬・医療事業	75	114	189	143	108	-47	60	203	14	+7.3%	173	+17.3%
クリティカルケア事業	123	173	296	189	76	115	191	380	84	+28.5%	402	-5.5%

EBITDA									前期比		2024年度 前回予想 (2024年11月発表)	増減率
	上期	下期	2023年度	上期	2024年度 予想		下期予想	増減額	増減率			
					3Q	4Q予想						
ヘルスケアセグメント	540	647	1,187	698	394						1,373	-
医薬・医療事業	217	265	482	296	210						551	-
クリティカルケア事業	323	382	705	401	184						822	-

		2023年度			2024年度		前年同期比	
		3Q	4-12月	年間	3Q	4-12月	増減額	増減率
＜旭化成ファーマ＞ 対象地域：国内								
テリボン	(億円)	106	299	388	112	317	18	+6.0%
リクラスト	(")	4	10	13	4	10	-0	-3.1%
ケブザラ	(")	31	85	112	18	73 ^{*1}	-12	-13.6%
プラケニル	(")	16	45	58	16	48	3	+7.4%
リコモジュリン	(")	25	66	82	21	56	-10	-15.5%
クレセンバ	(")	2	5	6	13	29	24	+506.4%
エムパベリ	(")	2	3	7	4	14	11	+330.9%
＜Veloxis＞ 対象地域：米国								
Envarsus XR	(百万ドル)	62	169	220	93	228	59	+34.9%
＜Calliditas＞ 対象地域：米国								
Tarpeyo	(百万ドル)				54 ^{*2}	54	54	－

*1:2024年5月～9月までの限定出荷の影響あり *2:新規連結に伴い2024年10月より当社で売上を計上



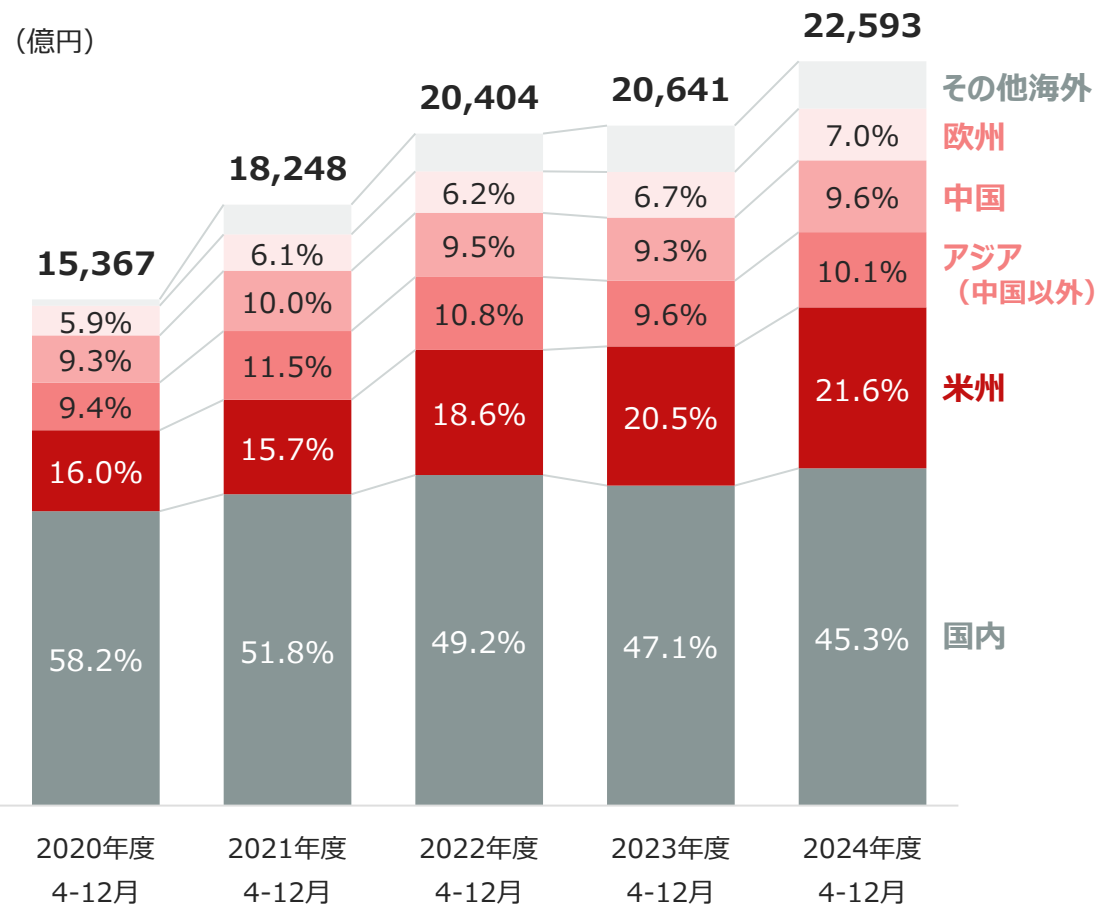
製品名	一般名	薬効・分類	適応症	剤形
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン：PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
ケブザラ	サリルマブ (遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
リコモジュリン	トロンボモジュリンアルファ (遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC (汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
クレセンバ	イサブコナゾニウム硫酸塩	深在性真菌症治療剤	アスペルギルス症、ムーコル症、クリプトコックス症	カプセル剤、注射剤
エムパベリ	ペグセタコプラン皮下注製剤	補体 (C3) 阻害剤	発作性夜間ヘモグロビン尿症	注射剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植における拒絶反応の抑制	錠剤
Tarpeyo	ブデソニド放出遅延製剤	腎疾患治療剤	疾患進行のリスクがある原発性IgA腎症	カプセル剤

		開発コード（一般名）	適応症	起源	開発	備考（地域他）
国内	フェーズⅢ	TA799 (アブラグルチド)	短腸症候群	導入	他社	日本におけるフェーズⅠは 当社が実施
	フェーズⅡ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	効能追加 (日米共同フェーズⅠ完了)
	フェーズⅡ	AK1830	変形性関節症に伴う疼痛	導入	自社	
	フェーズⅡ		慢性腰痛症に伴う疼痛			
	フェーズⅠ	AK1910	自己免疫疾患	導入	自社	
海外	フェーズⅢ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	凝固異常を伴う重症敗血症	自社	自社	米国・欧州他
	フェーズⅠ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）)	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	米国 (日米共同フェーズⅠ完了)
	フェーズⅠ	VEL-101	臓器移植	導入	自社	米国他
導出品	フェーズⅡ	LY3857210	慢性疼痛	共同開発	他社	導出先開発中 (日中販売権は当社が保持)

4. 参考資料

前年同期比では、円安影響もあり海外売上高が増加。なお、近年は米国における「ヘルスケア」や「住宅」のM&A等により、米州の売上高比率が上昇

■ 売上高・地域構成の推移^{*1}



■ 海外売上高

(億円)

	2023年度4-12月 <組換え後>		2024年度4-12月		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	海外売上高	海外売上高 比率	海外売上高	海外売上高 比率		
マテリアルセグメント	5,716	60.9%	6,443	62.9%	727	+12.7%
環境ソリューション	2,132	58.0%	2,319	56.7%	188	+8.8%
モビリティ& インダストリアル	2,268	79.9%	2,555	83.5%	287	+12.7%
ライフイノベーション	1,314	45.7%	1,568	50.9%	254	+19.4%
マテリアル共通	2	97.6%	0	84.7%	-2	-86.2%
住宅セグメント	1,919	27.3%	2,217	28.8%	297	+15.5%
住宅	1,919	28.6%	2,217	30.1%	297	+15.5%
建材	-	-	-	-	-	-
ヘルスケアセグメント	3,281	79.6%	3,679	80.9%	398	+12.1%
医薬・医療	771	49.0%	1,010	54.8%	239	+31.0%
クリティカルケア	2,510	98.5%	2,669	98.6%	159	+6.3%
その他	9	8.9%	12	10.9%	3	+33.7%
合 計	10,925	52.9%	12,352	54.7%	1,426	+13.1%

*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している

主なM&A案件（現中計期間）

セグメント	サブセグメント	企業名	事業内容	買収金額	のれん 発生額	業績貢献（PL連結開始）					
						FY22 上期	FY22 下期	FY23 上期	FY23 下期	FY24 上期	FY24 下期
住宅	住宅	Focus 等5社	北米における住宅の建築工事	362億円	128億円		22年11月				
		ODC Construction, LLC	北米における住宅の建築工事	348億円	334億円 (暫定)					24年9月	
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託等	429億円	355億円	22年7月					
		Calliditas Therapeutics AB	医薬・医療関連製品の開発、製造販売等	1,739億円 (5月発表時)	1,695億円 (暫定)					24年10月	

四半期売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	2021年度 ^{*1}				2022年度				2023年度＜組替後＞				2024年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
マテリアルセグメント	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,394	3,270	3,108	2,968	3,134	3,289	3,226	3,505	3,352	3,379	3,414
環境ソリューション事業	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,162	1,218	1,348	1,292	1,469	1,323	1,303	1,406
うち 基盤マテリアル事業	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	721	808	744	880	784	753	823
モビリティ&インダストリアル事業	754	765	807	896	925	997	940	923	901	943	941	962	1,042	1,000	1,019	949
ライフイノベーション事業	850	905	971	919	969	983	960	865	903	973	1,000	972	994	1,029	1,058	1,059
うち デジタルソリューション事業	286	306	313	309	342	323	299	261	294	317	331	343	357	368	378	358
マテリアル共通	0	3	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	-0	0	0	-0
住宅セグメント	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,138	2,301	2,484	2,211	2,416	2,400	2,517	2,365	2,687	2,643	2,736
住宅	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,302	2,295	2,427	2,264	2,579	2,530	2,628
建材	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114	105	90	101	108	113	108
ヘルスケアセグメント	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,241	1,286	1,228	1,294	1,371	1,455	1,417	1,458	1,470	1,622	1,651
医薬・医療	428	426	468	421	505	485	545	468	511	498	564	512	563	572	708	617
クリティカルケア	630	575	603	609	710	756	741	760	783	873	892	906	894	898	914	1,034
その他	30	33	32	35	30	35	34	41	34	31	38	46	32	36	45	47
合 計	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	6,808	6,892	6,861	6,507	6,952	7,182	7,207	7,359	7,544	7,689	7,847

*1 2021年度の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している

四半期営業利益推移

AsahiKASEI

(億円)

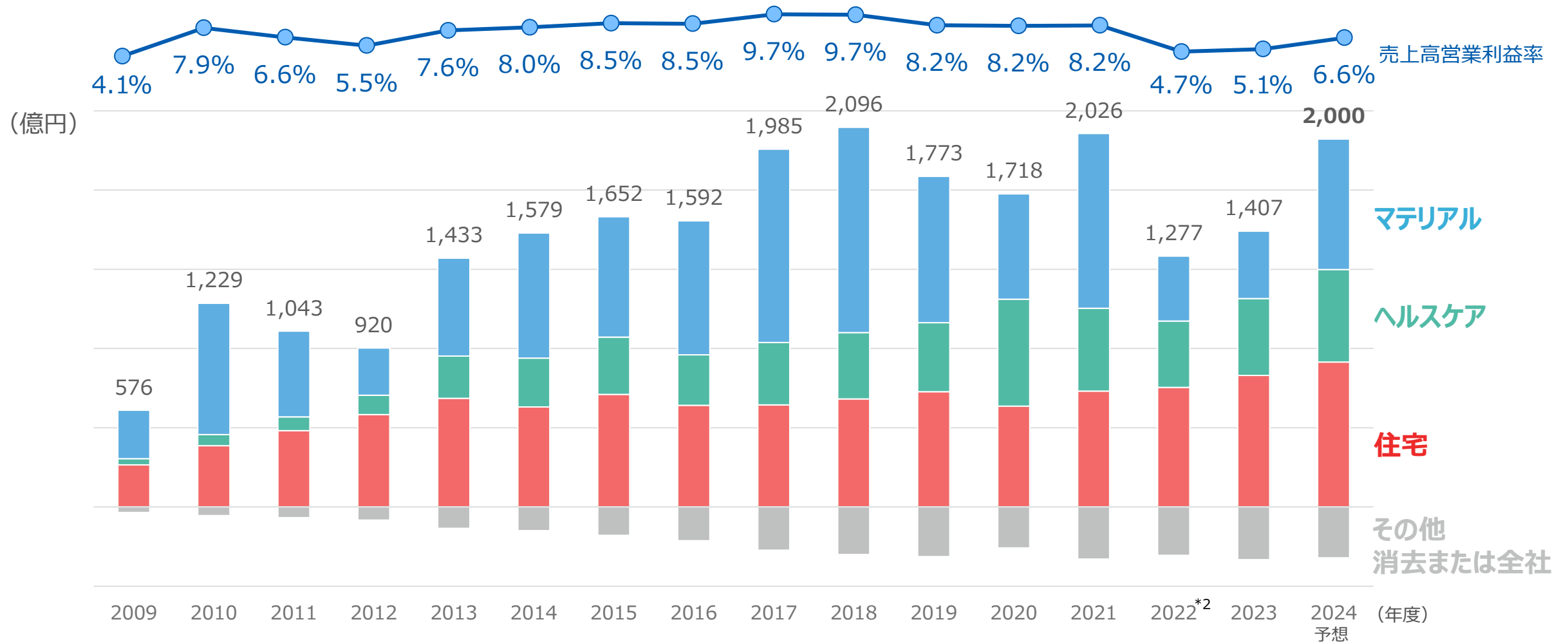
	2021年度 ^{*1}				2022年度				2023年度＜組替後＞				2024年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q ^{*2}	4Q ^{*2}	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 予想
マテリアルセグメント	311	275	298	176	268	139	81	-77	76	101	130	118	266	236	192	129
環境ソリューション事業	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-9	22	17	99	66	31	6
うち 基盤マテリアル事業	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-29	-3	0	61	48	10	-10
モビリティ&インダストリアル事業	82	50	54	71	52	39	5	12	30	37	14	45	56	61	25	53
ライフイノベーション事業	102	89	108	49	121	75	77	6	45	72	98	69	124	122	131	77
うち デジタルソリューション事業	43	46	46	34	67	38	32	5	20	33	40	33	62	66	67	46
マテリアル共通	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	2	-4	-12	-12	-13	4	-7
住宅セグメント	151	181	223	173	153	183	185	233	134	219	219	257	170	266	263	216
住宅	147	173	213	173	150	179	179	231	125	202	212	256	165	255	246	205
建材	4	8	10	0	3	4	6	1	9	17	7	1	5	12	17	11
ヘルスケアセグメント	205	138	159	20	148	110	114	46	96	103	158	129	156	176	184	67
医薬・医療	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	24	80	34	74	69	108	-47
クリティカルケア	129	78	69	27	48	65	35	41	45	79	78	95	82	107	76	115
その他	5	12	9	15	6	12	8	17	6	10	6	9	2	6	7	8
消去又は全社	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-92	-87	-91	-95	-94	-91	-64
合 計	605	526	609	286	494	364	303	117	218	341	426	422	499	590	555	356

*1 2021年度の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

営業利益の推移*1

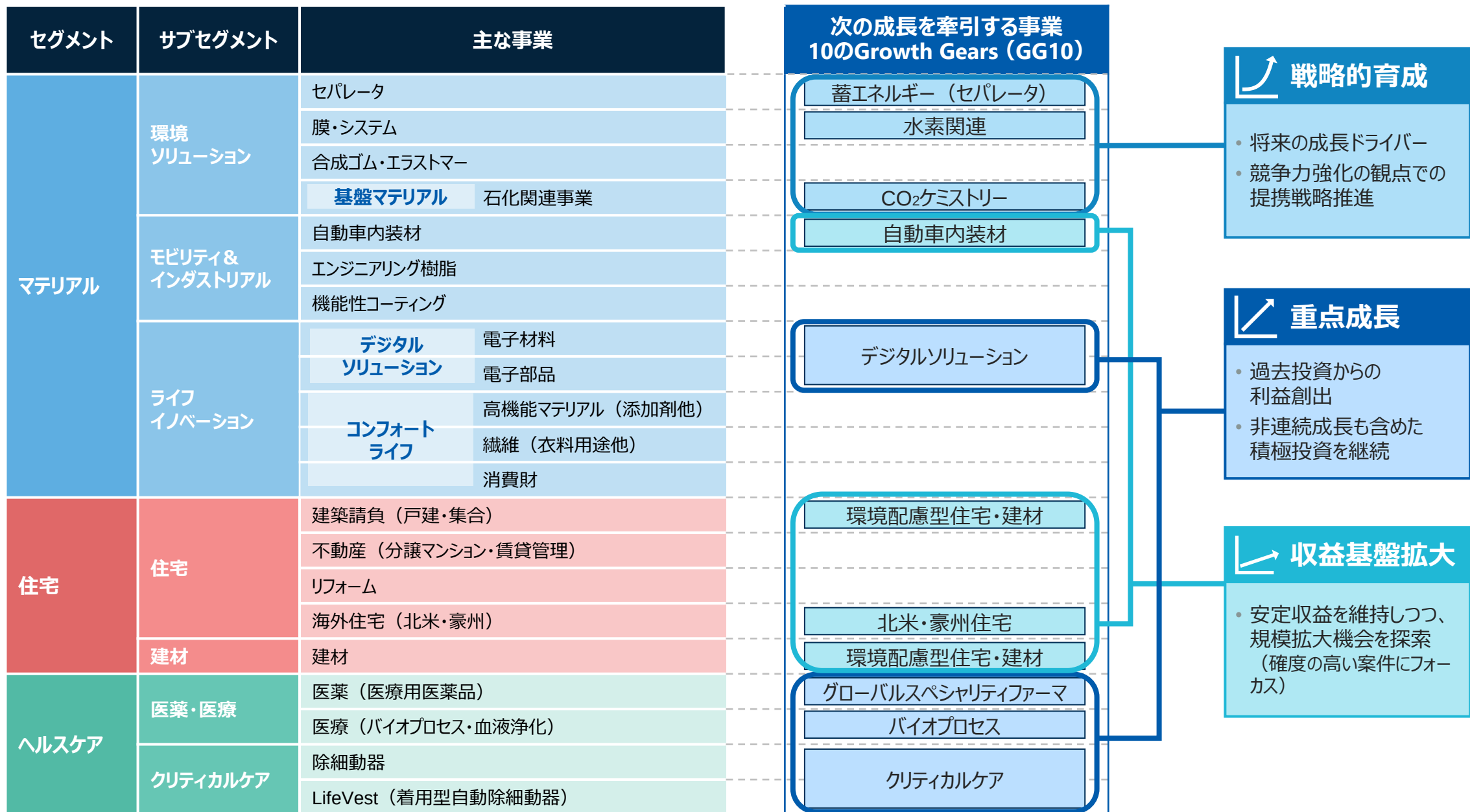
「住宅」の安定的な利益成長や、「ヘルスケア」の利益の拡大により、利益構造はレジリエント化が進んでいる。「マテリアル」は経営環境の悪化を受けて2018年度の営業利益をピークに減少していたが、2022年度を底に改善、グループ全体も増益傾向



*1 過年度の実績については、参考情報として現在の開示区分に簡便的に組み替えて表示している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

(参考) 事業区分とGG10の関係図



- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

<お知らせ>

**2024年度
決算発表予定日**

2025年5月9日（金）



AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

A decorative graphic consisting of several overlapping, wavy lines in shades of blue and red, flowing from the bottom left towards the top right, framing the central text.